

研修 評価

研修名	看護リフレクション（Ⅱ）～看護の質を高める経験の語り合い～				
領域	これからの看護管理を担う人々を対象とした研修	会場	看護研修センター	受講料	会 員:3,080 円 非会員:6,160 円
対象	ラダーレベル Ⅲ～Ⅴ 募集数(35人)応募数(34人)参加数(33人)会員数(31人)非会員数(2人)				
日時	令和5年11月4日(土) 9:30～16:30				
ねらい (目標)	看護リフレクションの体験を通し、日々の看護経験における看護の価値や意味を実感し、看護観をはぐくむための取り組みを理解する				
講師	東 めぐみ				
内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・リフレクションとは何か ・経験から学ぶ ・看護を語る、看護の語りを聴く ・看護リフレクション ・グループワーク 				
結果・評価 (受講者の意見感想含む)	<p>○評価方法：アンケート 回収率45%</p> <p>○自己課題の達成度：達成できた・ほぼ達成できたが 100%</p> <p>○受講者の満足度：満足できた・ほぼ満足できたが 100%</p> <p>・リフレクションについて学びを深める事ができました。明日からも実践できる内容でした。</p> <p>・自身の日々の看護を振り返る機会となり、看護を言葉に表す大切さを学びました</p> <p>・ほかの人の事前課題がもっと聞きたかった。</p>				
企画の評価	<p>○目標・内容</p> <p>・目標と内容の整合性については、100%が整合性がある」と回答していた。</p> <p>○プログラムの妥当性</p> <p>・参加者の主任や副師長が約53%を占め、ほかスタッフが33%であり内容として妥当であった。</p> <p>○事前準備・当日の運営など</p> <p>・円滑にグループワークが実施できた。感染対策として換気の実施、また講義の際には受講者の間隔を十分に取った。</p>				
課題					
担当者	教育委員				